

令和 7 年 9 月 3 0 日 一部採択 (第 1 項)、一部不採択 (第 2 項)

緑町土砂災害における住民向け説明の充実と生活再建支援金の適切な運用及び対象拡大を求める請願について

(趣 旨)

令和 6 年 7 月に発生した緑町土砂災害について、本年 2 月に住民説明会が開催されましたが、説明内容には誤解を招きかねない表現があったほか、十分な質疑応答の時間が確保されず、参加した多くの住民が納得できないまま帰宅する結果となりました。

その後、松山市議会の議員有志の皆様におかれましては、令和 7 年 3 月に、1. 市は、引き続き被災された方に寄り添い、個別に丁寧な説明し不安の解消に努めること。2. 質問や要望には、市ができる最大限の配慮を行い、丁寧に回答し、被災された方の理解を得るよう努めること。という申入れを市に対して行ってくださったことに、心より感謝申し上げます。

しかしながら、その後、私たちが本年 4 月に実施したアンケート調査（回答 4 7 件）では、「市の説明に納得している」「対応に満足している」といった声はごく僅かで、「個別・丁寧な説明に満足している」との回答は僅か 2 件にとどまりました。一方で、「対応や説明は不十分」との回答は 4 3 件に上り、市の認識と住民の実感には大きな乖離があることが明らかとなっています。

また、生活再建支援金についても、当初の調査票に記載した被害内容と実際の支給額に差異がある事例が複数確認されています。こうしたケースにおいては、被災者が原状回復を実現し、安心して生活を再建できるよう、実態に即した丁寧な説明が求められます。

さらに、本年 7 月に松山市に提出した要望書に対し、当マンションの居住者・関係者及び近隣住民の皆様から、1 2 1 世帯・2 1 0 名の署名が集まりました。これは、本件に対する住民の関心の高さと、誠実な対応を求める声がいかに強いものであるかを物語っています。

災害により日常を失ったり、つらい思いをしたりしている住民の不安や不信は、依然として解消されておらず、今も多くの声が上がっています。

これらのアンケートや署名から、議員有志の皆様からの申入れ内容が現場において十分

に実現されているとは言い難く、現実との乖離が続いています。市民の声に耳を傾け、丁寧に対応する姿勢をより徹底していただきたく、今回、改めて請願を提出するものです。

記

（請願事項）

- 1 松山市は「個別に丁寧な対応を行っている」としていますが、実際には納得できていない住民が多く存在します。この事実我真摯に向き合い、まずは、住民一人一人が納得できる個別丁寧な説明をお願いいたします。
- 2 生活再建支援金については、当初の調査票に記載された被害内容と実際の支給内容に差異がある事例に対し、当事者住民が納得できるよう、まず丁寧かつ具体的な説明を行っていただくことを要望します。また、営業・事業活動に関わる損失や収益の減少についても、生活の再建に直結する重要な問題であることから、再度、対象拡大の検討をお願いいたします。